

117 チゴモズ

(スズメ目)

兵庫県ランク:要注目

Lanius tigrinus

繁殖個体群:無 越冬個体群:無 通過個体群:注

環境省ランク:CR(絶滅危惧 I A類)

種の概要

本州中・北部では夏鳥、本州西南部、四国、九州、沖縄では不定期的な渡来とされる。個体数は少なく分布は局所的である。兵庫県では主に4-6月と8-9月に記録がある。平地から丘陵地の広葉樹林や混交林の林縁部に生息し、昆虫類やクモ類などの小動物を捕食する。

写真なし

国内分布

北海道、焼尻島、本州北・中部、本州南西部、舩倉島、見島、四国、九州、対馬、男女群島、屋久島、伊豆諸島、トカラ列島、琉球諸島

県内分布 ()表記の市町では2002年以前に生息確認

(神戸市)、(姫路市)、(西宮市)



主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少

県内における生息状況およびその他特記事項

新規追加種。

1960年代には神戸市で毎年観察されているように、古くから県南部では渡りの時期に記録があり、数の少ない旅鳥と考えられている。しかし、その後は1975年4-5月に姫路市西浜町で各1羽記録された他は、公にされている記録は見当たらない。生息地の環境が都市化の中で変化していることが減少要因の一つである。今後の動向に注目しておく必要がある。

保護上の留意点

都市環境下で損なわれている平地から丘陵地、低山地の自然環境の残る明るい林の再生が必要。